

医療秘書科卒業生の実態調査 —— 就労の実態と職業意識 ——

川崎医療短期大学 医療秘書科

清水 昌美 荒谷眞由美 大森 健三 山本 智子 太田 英子
家木 伸代 岡田 聚 岡田 和子 中島 行正 土光 荘六
赤畠 健 草信 正志 湊 泰子 掛野 重正

(平成2年8月27日受理)

A Survey on the Actual State of the Graduates of the Department of Medical Secretarial Science —— The Employment Status and the Attitude to the Occupation ——

Masami SHIMIZU, Mayumi ARATANI, Kenzo OMORI,
Tomoko YAMAMOTO, Eiko OTA, Nobuyo IEKI, Atsumu OKADA,
Kazuko OKADA, Yukimasa NAKASHIMA, Souroku DOKO,
Takeshi AKABATAKE, Masashi KUSANOBU, Yasuko MINATO
and Shigemasa KAKENO

*Department of Medical Secretarial Science, Kawasaki College of Allied Health Professions
Kurashiki, Okayama 701-01, Japan
(Received on Aug. 27, 1990)*

Key words : アンケート調査, 医療秘書科, 卒業生, 就労の実態, 職業意識

概 要

医療秘書科卒業生の就労の実態と職業意識を調べるためにアンケート調査を行った。

この調査では、秘書的な職業に就いている者の実態を把握することに焦点を当て、卒業生の就労の実態と、現在職業に就いている卒業生の職業意識を調べた。

その結果、現在秘書的業務を行っている医療秘書、秘書、医局秘書・秘書室秘書、研究補助は合わせて57名(回答した有職者中16.9%)おり、我々の予想を上回る人数であった。これらの職種の者は、職業意識の点でも、他の職種の者に比べて、自分の職業に対して肯定的に考えていることが分かった。

1. はじめに

本学医療秘書科ではこれまでに12期で1248名の卒業生を社会に送り出している。

卒業生の実態に関しては、過去において1期生と3期生に対し、就職状況および職業意識調査を行ったことがあるが¹⁻³⁾、10年を経過した今日、改めて、秘書的な職業に就いている者の実態を把握することに焦点を当て、卒業生の就労の実態と職業意識についてアンケート調査を行

った。

今回は、現在職業に就いている卒業生の職業意識を、医療機関と企業の2業種に分け、また、医療秘書・秘書など8職種に分けてその違いを探ってみた。

また、職業意識については、勤務年数や責任の度合、あるいは置かれた立場の環境などにより意識の変化があると思われるので、12期までの卒業生を3つのグループに分けて、その変化を比較した。以下にその結果を報告する。

2. 調査の概要

1) 調査方法および時期

調査方法は記名によるアンケート記入方式で、郵送とした。調査票は1990年6月11日に発送し、返送の締切を2週間後の6月25日とした。

2) 調査内容

アンケート内容は様式1に示した。

3) 調査対象

川崎医療短期大学医療秘書科の第1期から第12期(1979年3月卒業～1990年3月卒業)までの卒業生1248名のうち住所の確認できた1191名を対象とした。

4) 回収率

発送数1191通のうち529の回答があり、44.8%の回収率となった。

3. 結果

今回の調査では44.8%という予想外に低い回収率であった。この回収率で医療秘書科卒業生の実態を正確に把握することはできないかもしれないが、ここでは、返送された4割強の中での卒業生の実態を探っていくことにする。

返送された529通の内、現在職業に就いている者(有職者)からの回答が338通、現在職業に就いていない者からの回答は191通であった。

集計にあたっては、3つのグループ分けを行った。

Iのグループ：1期～5期

IIのグループ：6期～8期

IIIのグループ：9期～12期

この3つのグループにおいて、有職者の割合は、I：30～50%、II：50～75%、III：90～100%であった。

また、質問の4以降は、5段階の選択肢を用意したが、考察の段階では、1・2と4・5をまとめて3段階にした。

1) 就労の実態

① 業種別

有職者338名の職場を業種別にみると、医療機関215名(63.6%)、企業92名(27.2%)、その他31名(9.2%)であった。ここでいう医療機関とは、病院・医院・医科歯科大学・医学研究所などであり、その他は学校・官公庁などである。

② 職種別

職種別にみると、医療秘書業務あるいは秘書業務を行っている職種において、回答している職種と実際の仕事内容が、我々の考えているものと一致していないケースが幾つか見られた。

そこで、これらに該当する職種は以下のように定義し、所属と仕事内容などから判断して訂正した。

医療秘書——大学医学部・病院・医院・診療所等で、特定の上司(教授・院長・上級医師等)の医療秘書業務を行っている者。

秘書——特定の上司(医療に関係しない)の秘書業務を行っている者。ただし、病院長の秘書でも、管理面のみの秘書業務に従事している者はこれに含めた。

医局秘書・秘書室秘書(以下は省略して医局秘書とする)——病院等の医局または秘書室に勤務して、複数の医師の秘書業務・研究の補助・医事関連の秘書業務を行っている者。ただし、同様の仕事をしていて、医事課・庶務課に所属している者も少数いたので、それもこの中に含めた。

研究補助——大学の教室(あるいは講座)に所属または勤務しており、その教室(あるいは講座)に所属する複数の研究者の研究補助および秘書的業務を行っている者。

その結果、職種別の内訳は、医療秘書5名(1.5%)、秘書11名(3.3%)、医局秘書20名(5.9%)、研究補助21名(6.2%)、病棟事務7名(2.1%)、医療事務103名(30.5%)、病歴管理10名(3.0%)、事務一般117名(34.6%)、その他44名(13.0%)となった。

上記のその他に含まれる職種では、OA関連(キーパンチャー・プログラマー等)が16名、営業が12名いた。なお、OA関連職種は6期生以降に現れるという特徴があった。

③ その他

勤務時間

時間外勤務がほとんどないと回答している者を職種別に率の高いものから順に挙げていくと、研究補助11名(52.4%)、病歴管理5名(50.0%)、医局秘書9名(45.0%)、病棟事務3名(42.9%)、医療秘書2名(40.0%)、事務一般37名(31.6%)、秘書2名(18.2%)、医療事務7名(6.8%)であ

様式1

川崎医科大学 医療秘書科
卒業生 アンケート調査

以下の項目は現在職業に就いている方のみお答え下さい。
できれば()内に具体的な理由を記入して下さい。

第__期生 氏名 _____ (旧姓 _____)

※ 現在職業に就いている方は、全てに記入してご返送下さい。現在職業に就いていない方は、A、B、のみに記入し、1枚目の用紙のみご返送下さい。

A. 短大を卒業してからのあなたの就業状況について記入してください。
a) 転職の経験は 【 1. ある 回 2. なし 】
b) 同一勤務先での配置転換は 【 1. ある 回 2. なし 】

B. 短大を卒業してからのあなたの就業状況を詳しく記入してください。
・配置転換の場合も記入してください。ただし、勤務先は「同上」としてください。
・職種の変更は下の【職種例】を参考に記入してください。
・記入欄が足りない時は、同じ形式で裏面に記入して下さい。

I. 昭和 年月 ~ 平成 年月 (勤務年数: 年 か月間)
勤務先 _____ (正 規・臨 時・パート・アルバイト・その他 _____)
所属部署 _____
職名 (役職を含む) _____ (該当箇所には○印を、その他は) _____ (具体的に記入して下さい)
職 種 _____

II. 昭和 年月 ~ 平成 年月 (勤務年数: 年 か月間)
勤務先 _____ (正 規・臨 時・パート・アルバイト・その他 _____)
所属部署 _____
職名 (役職を含む) _____
職 種 _____

III. 昭和 年月 ~ 平成 年月 (勤務年数: 年 か月間)
勤務先 _____ (正 規・臨 時・パート・アルバイト・その他 _____)
所属部署 _____
職名 (役職を含む) _____
職 種 _____

【 職種 職種 例 】
医療秘書・秘書・研究補助・病歴管理・医療事務・事務一般・営業 など

1 現在の主な仕事内容を箇条書きで記入して下さい。

2 勤務時間および休日・休暇について記入して下さい。
・平日の勤務は 時 分 ~ 時 分までで休憩時間 分・週休 日
1. 勤務外勤務はほとんどない
2. 時間外勤務が定期的に、月に 時間ほどある
3. その他 (具体的な状況を記入して下さい)

3 現在の年収 (税込み) はどのくらいですか。
1. 200万円未満
2. 200万円以上250万円未満
3. 250万円以上300万円未満
4. 300万円以上350万円未満
5. 350万円以上

4 研修や講習などの勉強の機会が与えられていますか。
1. かなり与えられている
2. 少しなら与えられている
3. どちらともいえない
4. あまり与えられていない
5. 全く与えられていない

5 現在の仕事が自分に適していると思いますか。
1. 非常に適している 理由: _____
2. だいたい適している
3. 普通
4. あまり適していない
5. 全く適していない

第__期生 氏名 _____ (旧姓 _____)

6 短大で学んだ専門的知識技能が生かされていると思いますか。
1. 非常に生かされている 理由: _____
2. だいたい生かされている
3. 普通
4. あまり生かされていない
5. 全く生かされていない

7 自分の能力と仕事内容を比較した場合、どのように感じますか。
1. 自分の能力に比べてかなり仕事の程度が高い 理由: _____
2. 自分の能力に比べてやや仕事の程度が高い
3. どちらかともいえない
4. 自分の能力に比べてやや仕事の程度が低い
5. 自分の能力に比べてかなり仕事の程度が低い

8 自分の仕事に責任や権限が与えられていると思いますか。
1. かなり与えられている 理由: _____
2. 少しなら与えられている
3. どちらともいえない
4. あまり与えられていない
5. 全く与えられていない

9 自分の仕事に誇りを持っていますか。
1. 非常に誇りを持っている 理由: _____
2. やや誇りを持っている
3. どちらともいえない
4. あまり誇りを持っていない
5. 全く誇りを持っていない

10 自分の仕事内容・量と比べて給料は適当であると思いますか。
1. 多いと思う
2. やや多いと思う
3. 適 当
4. やや少ないと思う
5. 少ないと思う

(ご協力ありがとうございました)

11 現在の職業を継続することに関してどのように考えていますか。
1. ぜひ続けたい 理由: _____
2. できれば続けたい
3. どちらでもよい
4. できれば辞めたい
5. ぜひ辞めたい

12 現在の自分の職業を後継に推薦したいと思いますか。
1. 大いに勧めたい 理由: _____
2. まあ勧めたい
3. どちらともいえない
4. あまり勧めたくない
5. 絶対勧めたくない

13 現在の職業について何か意見があれば、自由に記入下さい。

った。

年 収

医療機関はⅢ→Ⅱ→Ⅰと年齢が上がるにつれて年収が増えてきているが、企業では特徴が見られなかった。(表1)

研修・講習の機会

企業においては、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (25.0%→52.4

%→76.3%)と研修・講習の機会が与えられている率が高くなってきている。全回答者で見ると、医療機関 (36.7%) よりも企業 (64.1%)の方が、与えられていると回答した者の率が高い。(表2)

表1 年 収

(単位：人)

| 区分 年収 (万円) | I | | II | | III | |
|------------------|------|-----|------|-----|------|-----|
| | 医療機関 | 企 業 | 医療機関 | 企 業 | 医療機関 | 企 業 |
| ～200 | 2 | 4 | 7 | 5 | 4 | 1 |
| 200～250 | 8 | 1 | 2 | 2 | 4 | 5 |
| 250～300 | 2 | 2 | 4 | 1 | 3 | 6 |
| 300～350 | 2 | 2 | 4 | 3 | 0 | 3 |
| 350～ | 4 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |

表2 研修・講習の機会

| | I | | II | | III | | 全 体 | | | | | |
|------|------------|-----------|------------|------------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| | 与えられている | どちらともえない | 与えられていない | 与えられていない | 与えられていない | 与えられていない | 与えられていない | 与えられていない | | | | |
| 医療機関 | 28 48.3 | 8 13.8 | 22 38.0 | 13 27.7 | 3 6.4 | 31 65.9 | 38 34.5 | 13 11.8 | 59 53.6 | 76 36.7 | 24 11.2 | 112 52.1 |
| 企 業 | 3 25.0 | 2 16.7 | 7 58.4 | 11 52.4 | 0 0.0 | 10 47.6 | 45 76.3 | 2 3.4 | 12 20.3 | 59 64.1 | 4 4.3 | 29 31.6 |

(注) 上記以外の業種及び無記入回答の記載は省略した。(上段：人数) (下段：%)

表3 職業意識の業種別集計

| | 5 現在の仕事が自分に適していると思いますか | | | | | | | | | | 6 短大で学んだ専門的知識技能が生かされていると思いますか | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-------------|-------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| | I | | II | | III | | 全 体 | | I | | II | | III | | 全 体 | | | | | | | | | |
| | 適している | 適していない | 適している | 適していない | 適している | 適していない | 適している | 適していない | 生かされている | 生かされていない | 生かされている | 生かされていない | 生かされている | 生かされていない | 生かされている | 生かされていない | | | | | | | | |
| 医療機関 | 31 53.4 | 26 44.8 | 0 0.0 | 23 49.0 | 15 31.9 | 7 14.9 | 53 48.1 | 31 28.2 | 23 21.0 | 107 49.8 | 72 33.5 | 30 14.0 | 26 44.9 | 19 32.8 | 13 22.4 | 18 38.3 | 15 31.9 | 14 29.8 | 61 55.5 | 20 18.2 | 29 26.4 | 105 48.8 | 54 25.1 | 56 26.1 |
| 企 業 | 1 8.3 | 7 58.3 | 4 33.3 | 12 57.1 | 8 38.1 | 4 18.2 | 35 30.5 | 18 3.1 | 48 52.2 | 3 35.9 | 33 35.9 | 8 8.7 | 4 33.3 | 3 25.0 | 5 41.7 | 6 28.6 | 7 33.3 | 8 38.1 | 33 33.9 | 30 30.5 | 18 35.6 | 21 32.6 | 30 30.4 | 34 36.9 |

| | 7 自分の能力と仕事内容を比較した場合、どのように感じますか | | | | | | | | | | 8 自分の仕事に責任や権限が与えられていると思いますか | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------------------------|------------|-----------|-----------|------------|----------|------------|------------|----------|------------|-----------------------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| | I | | II | | III | | 全 体 | | I | | II | | III | | 全 体 | | | | | | | | | |
| | 仕事の程度が高い | どちらかが高い | 仕事の程度が低い | どちらかが高い | 仕事の程度が高い | どちらかが高い | 仕事の程度が高い | どちらかが高い | 与えられている | どちらともえない | 与えられていない | 与えられている | どちらともえない | 与えられていない | 与えられている | どちらともえない | 与えられていない | | | | | | | |
| 医療機関 | 9 15.5 | 43 74.1 | 6 10.3 | 6 12.8 | 39 83.0 | 4 2.2 | 33 30.3 | 68 61.8 | 8 7.4 | 48 69.8 | 150 167.4 | 16 7.4 | 41 70.8 | 10 17.2 | 7 12.0 | 38 80.8 | 4 8.5 | 4 8.5 | 72 65.5 | 23 20.9 | 13 11.8 | 151 70.3 | 37 17.2 | 24 11.1 |
| 企 業 | 1 8.3 | 9 75.0 | 2 16.6 | 4 19.0 | 15 71.4 | 2 9.5 | 23 39.0 | 31 52.5 | 4 6.8 | 28 30.4 | 55 59.8 | 8 8.7 | 9 75.0 | 1 8.3 | 2 16.6 | 15 71.5 | 1 4.8 | 5 23.8 | 51 86.5 | 5 8.5 | 3 5.1 | 75 81.5 | 7 7.6 | 10 10.9 |

| | 9 自分の仕事に誇りを持っていますか | | | | | | | | | | 10 自分の仕事内容・量と比べて給料は適当だと思いますか | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-------------|------------------------------|------------|----------|------------|------------|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|----------|------------|-------------|
| | I | | II | | III | | 全 体 | | I | | II | | III | | 全 体 | | | | | | | | | |
| | 持っている | どちらともえない | 持っている | どちらともえない | 持っている | どちらともえない | 持っている | どちらともえない | 給料の方が多い | 通 当 | 給料の方が少ない | 給料の方が多い | 通 当 | 給料の方が少ない | 給料の方が多い | 通 当 | 給料の方が少ない | | | | | | | |
| 医療機関 | 35 60.3 | 16 27.6 | 7 12.1 | 25 53.2 | 14 29.8 | 7 14.9 | 56 53.9 | 40 36.4 | 13 11.8 | 116 53.9 | 70 32.6 | 27 12.6 | 2 3.4 | 32 55.2 | 23 39.7 | 0 0.0 | 18 38.3 | 29 61.7 | 3 2.7 | 48 43.6 | 56 50.9 | 5 2.4 | 98 45.6 | 108 50.2 |
| 企 業 | 3 25.0 | 7 58.3 | 2 16.7 | 15 71.4 | 4 19.0 | 2 9.5 | 44 74.6 | 12 20.3 | 3 5.1 | 62 67.4 | 23 25.0 | 7 7.6 | 0 0.0 | 10 83.3 | 2 16.6 | 2 9.5 | 7 33.3 | 12 57.1 | 6 10.2 | 34 68.4 | 14 23.7 | 8 8.7 | 55 59.8 | 28 30.5 |

| | 11 現在の職業を継続することにどのように考えていますか | | | | | | | | | | 12 現在の自分の職業を後輩に推薦したいと思えますか | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-------------|----------------------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | I | | II | | III | | 全 体 | | I | | II | | III | | 全 体 | | | | | | | | | |
| | 続けたい | どちらでもよい | 辞めたい | 続けたい | 辞めたい | 続けたい | どちらでもよい | 辞めたい | 勧めたい | 勧めたくない | 勧めたい | 勧めたくない | 勧めたい | 勧めたくない | 勧めたい | 勧めたくない | | | | | | | | |
| 医療機関 | 40 68.9 | 5 8.6 | 12 20.7 | 19 40.5 | 8 17.0 | 19 40.5 | 60 54.6 | 20 18.2 | 26 23.7 | 119 55.3 | 33 15.3 | 57 26.6 | 25 43.1 | 24 41.4 | 8 13.8 | 17 36.2 | 23 48.9 | 6 12.7 | 34 30.9 | 48 43.6 | 27 24.6 | 76 35.5 | 45 21.4 | 41 19.0 |
| 企 業 | 6 50.0 | 3 25.0 | 2 16.7 | 13 61.9 | 8 28.6 | 2 9.5 | 44 74.4 | 4 6.8 | 8 13.6 | 63 68.5 | 13 13.1 | 12 13.1 | 2 16.6 | 5 41.7 | 4 33.3 | 8 38.1 | 8 38.1 | 5 23.8 | 25 42.3 | 26 44.1 | 7 11.9 | 35 38.0 | 32 42.4 | 16 17.4 |

(注) 上記以外の業種及び無記入回答の記載は省略した。(上段：人数) (下段：%)

2) 職業意識

① 業 種 別

業種別の集計結果は表3に示した。

現在の仕事が自分に適していると思うかという項目に対しては、適していると回答した者が、医療機関ではI-II-III(53.4%-49.0%-48.1%)において約5割、企業ではII-III(57.1

%-59.4%)において約6割おり企業の方がやや高い数値が出ている。

短大で学んだ専門的知識技能が生かされていると思うかという項目に対しては、生かされていると回答した者の率が、I-II-IIIそれぞれ、企業(33.3%-28.6%-33.9%)よりも医療機関(44.9%-38.3%-55.5%)で高い。これは、

短大では医学関連教科と秘書関連教科の両方を学んでおり、医療機関ではその両方が生かせるが、企業では医学的知識が生かせないと感じるためであろう。

自分の能力と仕事内容を比較した場合のよう感じるかという項目に対しては、仕事の程度が高いと回答している者は、医療機関（Ⅰ：15.5％，Ⅱ：12.8％，Ⅲ：30.0％）も企業（Ⅰ：8.3％，Ⅱ：19.0％，Ⅲ：39.0％）も共に就職年数の浅いⅢにその割合が多い。

自分の仕事に責任や権限が与えられていると思うかという項目に対しては、就職年数の浅いⅢも、Ⅰ－Ⅱと同様に率が高かった。医療機関（Ⅰ：70.8％，Ⅱ：80.8％，Ⅲ：65.5％），企業（Ⅰ：75.0％，Ⅱ：71.5％，Ⅲ：86.5％）。

自分の仕事に誇りを持っているかという項目に対しては、持っていると回答した者が医療機関ではⅠ－Ⅱ－Ⅲ（60.3％－53.2％－50.9％）共に5～6割で、企業ではⅠ（25.0％）とⅡ－Ⅲ（71.4％－74.6％）で大きな差がみられた。

自分の仕事内容・量と比べて給料が適当であるかという項目に対しては、少ないと回答した者の率が、Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ全てにおいて、企業（Ⅰ：16.6％，Ⅱ：57.1％，Ⅲ：23.7％）よりも医療機関（Ⅰ：39.7％，Ⅱ：61.7％，Ⅲ：50.9％）で高かった。

現在の職業を継続することに関してどのよう

に考えているかという項目に対しては、続けたいと回答した者の率が、医療機関ではⅠが高く、企業ではⅡ－Ⅲが高かった。医療機関（Ⅰ：68.9％，Ⅱ：40.5％，Ⅲ：54.6％），企業（Ⅰ：50.0％，Ⅱ：61.9％，Ⅲ：74.5％）。

② 職種別

職種別ではⅠ・Ⅱ・Ⅲに区分すると少人数になるので、1期生～12期生全体で検討し、集計結果は表4に示した。

現在の仕事が自分に適していると思うかという項目に対しては、適していると回答した者の率が高いのは、医療秘書（100.0％），研究補助（81.0％）であった。

短大で学んだ専門的知識技能が生かされていると思うかという項目に対しては、生かされていると回答した者の率は、研究補助（85.7％），医療秘書（80.0％），医局秘書（80.0％）で高くなっている。これは、他の職種より、学んだことが幅広く活用できるためであろう。

自分の仕事に責任や権限が与えられていると思うかという項目に対しては、ほぼ全ての職種において、与えられていると回答した者が高い率を示している。

自分の仕事に誇りを持っているかという項目に対しては、持っていると回答した者の率は、医療秘書（100.0％），医局秘書（75.0％），秘書（72.8％）で高かった。

表4 職業意識の職種別集計

| | 5 現在の仕事 が自分に適している と思いますか | | | 6 短大で学んだ 専門的知識技能が 生かされている と思いますか | | | 7 自分の能力 と仕事内容を比較 した場合、どのよう に感じますか | | | 8 自分の仕事 に責任や権限が与 えられていると思 いますか | | | 9 自分の仕事 に誇りを持って いますか | | | 10 自分の仕事 内容と比べて 給料は適当である と思いますか | | | 11 現在の職業 を継続することに してどのよう に考えていますか | | | 12 現在の自分 の職業を将来的に 続けたいと思 いますか | | | |
|------|--------------------------------|------------|--------------------|---|------------|----------------------------------|--|--|---------------------------------|---|---|----------------------------------|----------------------------|---|------------------------|--|------------|--------------------------------------|--|----------------------------|------------------|--|----------------------------|------------|----------|
| | 適 して いる | 普 通 | 適 して いな い | 生 か さ れ て い る | 普 通 | 生 か さ れ て い ない | 仕 事 の 程 度 高 い | ど ち ら い が え 上 り な い | 仕 事 の 程 度 低 い | 与 え ら れ て い る | ど ち ら い と え も な い | 与 え ら れ て い ない | 持 っ て い る | ど ち ら い と え も な い | 持 っ て い ない | 給 料 の 方 が 多 い | 適 当 | 給 料 の 方 が 少 な い | 続 け た い | ど ち ら も よ い | 辞 め た い | ど ち ら も い ない | 勤 め た く な い | | |
| 医療秘書 | 5 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 80.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 3 60.0 | 2 40.0 | 0 0.0 | 4 80.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 5 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 5 100.0 | 5 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 3 60.0 | 0 0.0 | |
| 秘 書 | 6 54.6 | 5 45.5 | 0 0.0 | 7 63.6 | 3 27.3 | 1 9.1 | 7 63.7 | 4 36.4 | 0 0.0 | 10 90.9 | 1 9.1 | 0 0.0 | 8 72.8 | 3 27.3 | 0 0.0 | 1 9.1 | 6 54.5 | 4 36.4 | 9 81.8 | 1 9.1 | 1 9.1 | 1 9.1 | 1 9.1 | 1 9.1 | 1 9.1 |
| 医局秘書 | 12 60.0 | 4 20.0 | 3 15.0 | 16 80.0 | 4 20.0 | 0 0.0 | 5 25.0 | 11 55.0 | 3 15.0 | 17 85.0 | 3 15.0 | 0 0.0 | 15 75.0 | 3 15.0 | 2 10.0 | 0 0.0 | 2 10.0 | 18 90.0 | 8 40.0 | 4 20.0 | 7 35.0 | 6 30.0 | 11 55.0 | 3 15.0 | |
| 研究補助 | 17 81.0 | 4 19.0 | 0 0.0 | 18 85.7 | 2 9.5 | 1 4.8 | 4 19.0 | 15 71.4 | 2 9.5 | 15 71.4 | 4 19.0 | 2 9.5 | 12 57.1 | 8 38.1 | 1 4.8 | 0 0.0 | 12 57.1 | 8 38.1 | 17 81.0 | 2 9.5 | 2 9.5 | 2 9.5 | 12 57.1 | 9 42.9 | 0 0.0 |
| 病棟事務 | 3 42.9 | 4 57.1 | 0 0.0 | 2 28.6 | 2 28.6 | 2 28.6 | 3 42.9 | 4 57.1 | 0 0.0 | 5 71.5 | 2 28.6 | 0 0.0 | 4 57.2 | 2 28.6 | 1 14.3 | 0 0.0 | 7 100.0 | 0 0.0 | 4 57.1 | 0 0.0 | 4 57.1 | 1 14.3 | 4 57.1 | 2 28.6 | |
| 医家事務 | 49 46.6 | 40 38.8 | 13 12.7 | 44 42.7 | 32 31.1 | 27 26.2 | 18 17.4 | 79 76.7 | 6 5.8 | 74 71.8 | 14 13.6 | 13 12.6 | 53 51.5 | 38 36.9 | 11 10.7 | 3 2.9 | 49 47.6 | 50 48.6 | 60 58.3 | 18 17.5 | 22 21.4 | 40 38.8 | 49 47.6 | 12 11.7 | |
| 病歴管理 | 3 30.0 | 5 50.0 | 2 20.0 | 6 60.0 | 3 30.0 | 1 10.0 | 2 20.0 | 6 60.0 | 2 20.0 | 5 50.0 | 3 30.0 | 2 20.0 | 4 40.0 | 3 30.0 | 3 30.0 | 0 0.0 | 4 40.0 | 6 60.0 | 5 50.0 | 10 10.0 | 4 40.0 | 4 40.0 | 2 20.0 | 4 40.0 | |
| 事務一般 | 47 40.2 | 45 39.3 | 20 17.1 | 24 25.6 | 30 25.6 | 10 48.7 | 24 20.5 | 80 68.4 | 12 10.3 | 87 74.4 | 13 11.1 | 16 13.7 | 67 57.2 | 32 27.4 | 17 14.6 | 7 6.0 | 63 53.8 | 45 38.5 | 61 61.6 | 14 12.0 | 24 24.0 | 36 30.8 | 49 41.9 | 31 26.5 | |

(注) 上記以外の職種及び無記入回答の記載は省略した。

(上段：人数)

(下段：%)

自分の仕事内容・量と比べて給料は適当であると思うかという項目に対しては、給料の方が少ないと回答した者の率は、医療秘書(100.0%)、医局秘書(90.0%)が高かった。これらの職種には、臨時の契約で就職するケースも含まれていることがあり、仕事には満足していても待遇面では不満を表明している。

現在の職業を継続することに關してどのよう
に考えているかという項目に対しては、続けた
いと回答した者が、医療秘書(100.0%)、秘書
(81.8%)、研究補助(81.0%)で高い率を示した。

4. 考 察

今回の調査では、職業意識において、医療秘書・秘書・医局秘書・研究補助などの「秘書的業務」に就いている者の方が、他の職種に就いている者と比べて、自分の職業に対して、より肯定的な態度を持っていることが分かった。このことは、医療秘書科という専門学科に学んだ者ならば、当然予想される態度であって、格別に取り上げる事柄ではないかもしれないが、今回の限られた調査結果の中では、重みのある「確認事項」として位置づけたいと思う。それは我々の教育の基本姿勢⁴⁾の反映の明示であるからである。

我々は秘書職能の特殊性は、「介助すべき上司を特定し、その上司の職能を最大限に発揮させるために、業務を専念遂行すること」⁵⁾にあるとし、医療秘書とは、「上級医師の側近にあつて、情報処理とコミュニケーションの円滑化を主たる機能とし、補佐する直接の上司へのサービスと助言をその役割の主軸とする行為者であつて、組織管理上許された条件下の地位の人にのみ配属されるところの特殊な職位」⁶⁾と考え、これらを教育の基本姿勢としてきたのである。

一方、今回の調査を行つて改めて認識したことは、1期生および3期生の調査¹⁻³⁾から10年近くを経過している現在でも、なお医療秘書という職種の内容に、依然として曖昧さが認められることである。つまり、「我が国の医療秘書の定義には幅の広い揺れがあり、看護助手的な業務の従事者、診療報酬請求事務の担当者、カルテ処理の担当者、病医院の受付、病棟事務員など

でも、医療秘書と呼ばれる例が多々あり、使う側の都合で如何にも処理できる便利な職種として扱われていることは否定できない。」⁷⁾という状況が、本調査の結果からも伺えるのである。この現実には、我が国の医療秘書を取り巻く重大な問題であるが、これについて考察を加えることは本報告の主題ではないので割愛する。

このような状況の下にあるが故に、秘書業務に就いている者は極めて少数であろうと我々は予測した。今回の調査において医療秘書として勤務している者は僅かに5名であつた。しかし、その他の「秘書的業務」すなわち、秘書、医局秘書、研究補助などを合わせると57名という数になり、回答した有職者中16.9%の割合を占めた。また、529の回答中、過去にこれら四つの職種のいずれかに就いた経験があるとした者は123名にのぼり、これは23.3%に当たる。これらの数字は、我々の予想を上回るものであつた。

この結果のみをもつての一般化や予測は慎まねばならないが、秘書的業務の従事者に対する社会的ニーズは、少なくともネガティブな傾向をたどるといふ予測はたまたないと思われる。この問題については、今後の推移を慎重に研究する必要があるのは明らかである。

謝 辞

このアンケート調査に協力して頂いた本学医療秘書科卒業生の皆様に感謝します。

文 献

- 1) 草信正志ほか：医療秘書科1期生の就職状況。日本病院会雑誌，26(11)，23，(1979)
- 2) 湊 泰子ほか：医療秘書科の就職状況 第2報 その1 第3期生の調査から。日本病院会雑誌，28(11)，67～68，(1981)
- 3) 大森健三ほか：医療秘書科の就職状況 第2報 その2 第1期生の調査から。日本病院会雑誌，28(11)，68，(1981)
- 4) 岡田 聚：短期大学における実務教育(その五) 一 医療秘書科。短期大学教育，44，94～99，(1987)
- 5) 岡田 聚ほか：秘書の職能とその特殊性。川崎医療短期大学紀要，1，131～140，(1982)
- 6) 岡田 聚：医療秘書科の歩む道。川崎学園創立二十年誌(印刷中)